

学・技術の実践経験の場
与え、ものづくりを通じ
学生の創造力を育むこと
目的に、平成11年に開設
れた。

本コースは実技内容に
機械加工コース、型技
コース、エンジンコース
3コースが設定されてい
カレッジマイスターとし
認定を受けるために、も
3年次終了までに、

機械工学科

平成
十四年度
卒業生一覧
3月20日付
確定者

電気電子工学科

建築学科

システム工学科

情報工学科

大学院工学研究科修了生

●博士前期課程

システム工学専攻

【機械工学専攻】

【電気工学専攻】

【情報工学専攻】

早期修了者
システム工学専攻

●博士後期課程

【電気工学専攻】

【建築専攻】

早期修了者
【建築専攻】

学位記授与にあたって

理事長 大川陽康



本日ここに学位授与式を迎えられた学部並びに大学院の学生諸君、おめでとうと言います。

振り返りますと、1989年11月に冷戦が終結し、翌年の株式大暴落から始まった、この先の見えない月日を「空白の十年」と言っていますが、この間に起こったことは、非常に大きな変化でした。今までの社会システムが大きく崩れ、日本の社会は新しい価値観の創生を強いられたいにもかかわらず、そのことに成功したよ

うには見えません。現在問題になっている銀行の不良債権処理や特殊法人の見直し等の諸問題は、我が国独特の反応の鈍さで、その渦中にある我々の混迷を深めるばかりです。

一口で言うと、現在は「これまでの見直しの時代」と言えるかも知れません。しかし、そうは言ってもこれから諸君がエンジニアとして生きてゆくための必須項目の重要性はますます深まります。一つは「言うまでもなくインターネットを中心とした情報技術の活用です。情報技術は、全てが良いことばかりとは限らないと思いますが、いずれにせよ2001年の情報通信白書によれば、インターネット人口は4700万人を超えています。

インターネット以外にも、エネルギー分野では、環境にやさしいエネ

ルギーの研究が急がれています。諸君も承知のように、本学においても太陽光や雨水の利用を既に行なっています。しかし、本当は、もう少し大きな取り組みが求められていると考えています。

さて、これから社会に出て行く諸君に特に心がけてほしいのは、価値観が大きく変わって、今は価値の再構築の時代だということです。地球の資源は有限です。諸君の知識や技術は、そうした地球規模の環境に配慮した方向に向けてほしいと思うのです。諸君は、これから広い意味で専門家になります。その専門家という立場から見た「生涯学習」もまた必要にして不可欠となると、私は考えています。

ともあれ、諸君はこれからの長い人生の中で新しい問題に直面した時諸君自らが本学を再び訪ねてきてくれることを、私は望みます。先生方は必ずや諸君の助けとなるでしょう。最後に、諸君が社会人として第一歩を歩みだす日に際し、諸君のご健康とご健闘を祈り、贈る言葉とします。



◎学位記授与式

3月20日(木)

